学校番号	1201

令和８年度　芸術科

教科	専 美術	科目	（学）クラフトワーク	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・陶芸制作による新しい発見や可能性を生かした作品の構想・制作を通して、個々の作品表現に必要な用具を的確に選択し、多様な素材と用具を使いこなす能力を身に付けさせる。
・陶芸の創造活動を通して、素材の生かし方を学び、心豊かに発想し、表現できる力を養う。
・自ら制作したものを実際に使用することの喜びを味わう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・工芸の分野の中でも特に陶芸制作に重点を置き、創造活動を通して美的体験を豊かにし、そのデザイン感覚を日常生活の中に生かす能力を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】
・手づくりのよさや材料の特性、生活と工芸とのかかわりについて理解し、実際に触れて材質感を確認したり、加工したりする体験を通して、美的で機能的、効果的な作品を制作する技能や表現力を身に付ける。
【学びに向かう力、人間性等】
・伝統的な陶芸の創作活動に関心を持ち、多様な表現方法や伝統文化に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・課題に最適な表現を自分で見つけ、使うことができている。 ・道具の特性を理解し、その特徴を活かした制作ができている。	・感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、表現手法や目的などから主題を生成し、創造的な制作の構想を練っている。 ・様々な作品を鑑賞し、それについて自分なりの意見を持つことができている。	・工芸の創造活動の喜びを味わい、工芸や工芸の伝統と文化に関心を持ち、課題に対して前向きな姿勢で臨めている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期・	印花	印花制作(石膏) ・柱状に固めた石膏を彫り、印花を作る。	a:石膏の扱いや、彫刻刀の使用方法を理解し、制作に取り組んでいる。 b:押した時の見え方をイメージし、デザインを考えられている。 a:主体的に活動に取り組もうとしている。	観察 作品	アイデアスケッチ 作品	観察 振り返りシート
	赤白2色皿	器(皿)制作 ・陶芸についての説明 ・赤白 2 色の陶土を使い、たたらづくりで土台を作る。土台と違う色の土で模様を施し、透明釉をかけて本焼きする。	a:学んだ技術を活かし制作できている。 b:表現手法を理解し、陶土の色の違いをいかしたデザイン案を考えられている。 c:陶芸の制作過程に興味を持ち、意欲を持って制作できている。	観察 作品	アイデアスケッチ 作品	観察 振り返りシート
2学期	絵付け湯飲み	器(湯のみ)制作 ・白土を使用し、ひもづくりで成型。呉須で絵付けを施した湯のみを完成させる。 アイデアスケッチ	a:ひもづくりの技法を理解し、手際よく制作できている。 b:呉須の特色を生かし、図柄のアイデアを練っている。 c:絵付けに興味をもち、主体的に取り組もうとしている。	観察 作品	アイデアスケッチ 作品	観察 振り返りシート
	マグカップ	器(マグカップ)制作 ・白土をたたらづくりで成型。黒化粧でカッティング模様を施し、あめ釉をかけたマグカップを制作する。	a:たたらづくりの技法を理解し、丁寧に作業している。 b:感性や想像力を働かせて、カッティング模様のアイデアを練っている。 c:黒化粧とあめ釉が作り出す模様の美しさを味わい、意欲的に制作に取り組もうとしている。	観察 作品	アイデアスケッチ 作品	観察 振り返りシート

2学期	陶箱	陶箱(蓋物)制作 ・自由なかたちに成型した赤土に白化粧で装飾を施し、陶箱を制作する。 ・作品を展示し、鑑賞し合う。	a:感性や想像力を働かせて、陶箱のかたちや白化粧の装飾のアイデアを練っている。 b:自分の作りたいものを、身につけた技術を生かして表現しようとしている。 c:意欲的に制作に取り組もうとしている。 他者の作品から、それぞれの良さを感じ取ることができている。	観察 作品	アイデアスケッチ 作品	観察 振り返りシート
	電動ろくろ体験	電動ろくろを使用した器の制作 ・電動ろくろを使用し、湯のみや皿などを制作する。	a:電動ろくろの操作方法を理解し、コツをつかもうと努力している。 b:電動ろくろの持ち味を理解し、作品に生かしている。 c:電動ろくろでの制作に興味を持ち、意欲的に制作に取り組もうとしている。	観察 作品	アイデアスケッチ 作品	観察 振り返りシート
3学期	トンボ玉	・トンボ玉制作 バーナーワークでトンボ玉を制作し、ストラップなどに仕上げる。	a:学んだ技術を生かして、丁寧に作業しようとしている。 b:完成作品と必要なパーツをイメージして作業に取り組んでいる。 c:意欲的に制作に取り組もうとしている。	観察 作品	アイデアスケッチ 作品	観察 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度